

平成20年7月18日

# 貧酸素水塊速報 (2008年)

【発行】○ 千葉県水産総合研究センター  
【協力】 神奈川県水産技術センター  
千葉県環境研究センター  
第三管区海上保安本部  
国立環境研究所  
("○"は、今回データの提供を受けた機関です)

千葉県農林水産技術会議  
内湾底びき網研究会連合会  
東京都環境局  
○ 千葉灯標モニタリングポスト

## 平成20年7月15日観測結果

底層の貧酸素化は再び強まり、内湾中央部にはDO1ml/L以下の水塊が広く分布し、盤洲～富津岬沖にも貧酸素水塊が南下しました(図1)。縦断ラインでは、水深5～10m以深に厚く貧酸素水塊が分布していました(図2)。このため、縦断ラインでの貧酸素水塊の規模は60%近くに達しており、例年の倍以上の規模を示しました(図3)。

内湾中央～奥部には濃い赤潮が見られ、水色は褐色基調、透明度は1～1.5mでした。水温は表層24～29℃、底層15～23℃でした。

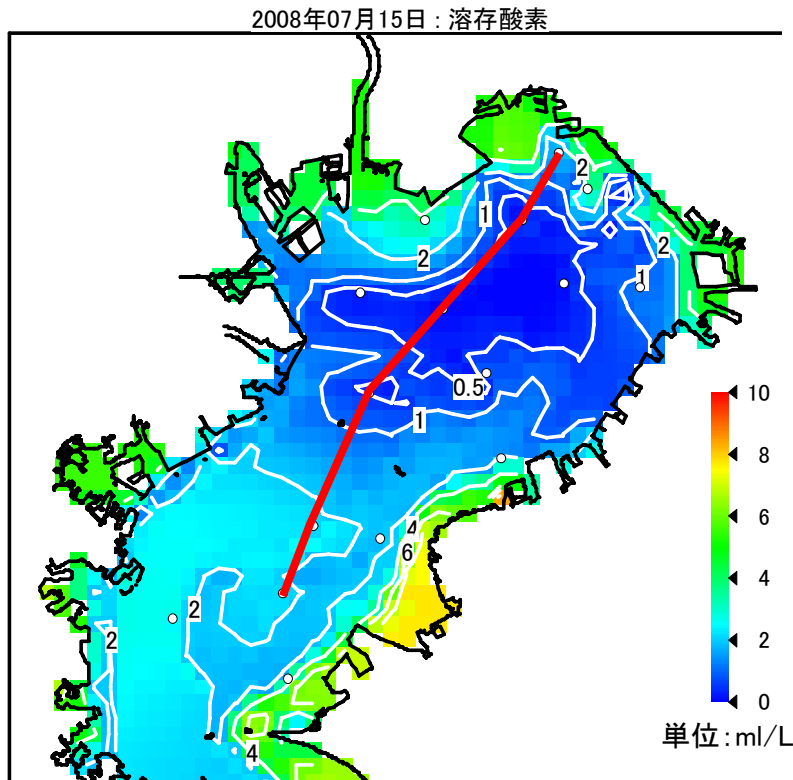


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

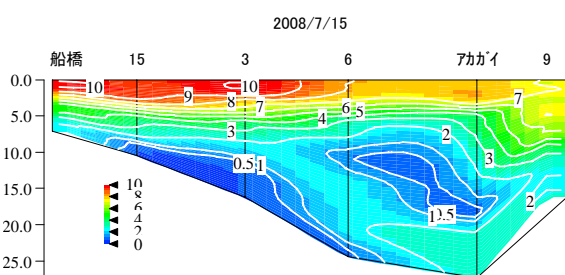


図2 縦断ライン(上図赤線)でのDO鉛直分布

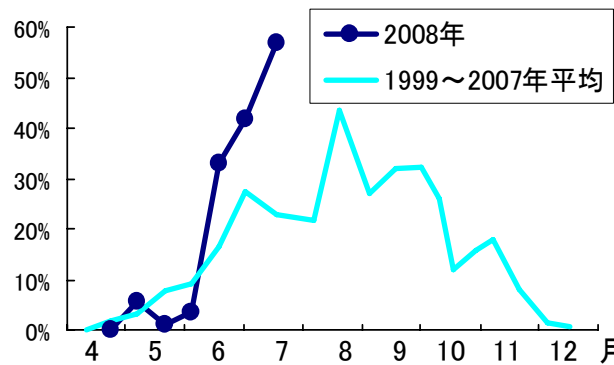


図3 貧酸素水塊の規模  
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)